

## 申請書類記入上の注意点

### (1) 食道外科専門医認定申請書

#### 食道外科専門医認定申請書（様式1）

・日本消化器外科学会の消化器外科専門医または日本消化器外科学会指導医で申請する場合は、日本胸部外科学会の会員であることが条件です。申請書には日本胸部外科学会の会員番号を記入してください。

・呼吸器外科専門医合同委員会の定める呼吸器外科専門医または日本呼吸器外科学会が認定する日本呼吸器外科学会指導医（旧専門医）で申請する場合は、日本消化器外科学会の会員であることが条件です。申請書には日本消化器外科学会の会員番号を記入してください。

・専門医認定証（写）、指導医認定証（写）は有効期限内のものを添付してください。有効期限が過ぎている場合は認められません。

#### 履歴書（様式2）

・申請をする前の5年間（2013年1月1日～2017年12月31日）に、本学会食道外科専門医認定施設または準認定施設において、所定の修練カリキュラムに従い、通算3年以上の修練を行っていることが必要です（認定施設は認定時から5年遡って認められます）。該当する認定施設での勤務実績部分にマーカー等でしるしをつけてください。

#### 診療経験一覧表（様式3）

・申請をする前の5年間（2013年1月1日～2017年12月31日）に、本学会食道外科専門医認定施設または準認定施設において50点以上の食道疾患症例の手術経験（術者および指導医）を有していることが必要です。点数は「本学会食道外科専門医審査のための手術経験一覧」で算出してください。

※提出できる症例は日本食道学会食道外科専門医認定施設または準認定施設の症例に限ります。

・提出できる症例は全身麻酔下で行われたものに限りです。

・診療経験一覧表には、術者（執刀医）あるいは指導医（指導的第一助手）として携わった食道疾患症例の手術を記入してください。ただし、手術に入っていない指導医の場合は

診療経験として認められません。また、上級者に対する指導的助手は基本的には認められません。（指導的第一助手の定義については施行細則巻末の表2をご参照ください）。

※2014年以降の症例では指導的第一助手の症例は認められません。

・申請する手術のうち、食道癌に対する胸部食道切除術が15点以上必要です。診療経験一覧表の点数欄に記入する際、該当する胸部食道切除術の点数は丸印で囲んでください。

・手術記事コピーは、診療経験施設に保存された公式手術記録（公文書）を全頁コピーしてください。術者、術式、疾患名、手術年月日などが確認できない場合、または公式手術記録でない場合は認められません。

・手術記録に執刀・指導の別、担当領域の記載欄がない場合、所定の「術者一覧表」の添付が症例ごとに必要です。

※上記書類の添付がない場合、記載欄に記載がない場合、本人および修練責任者の署名・捺印がない場合は認められません。

・申請者が1つの手術で複数の術式を担当した場合、複数の術式の点数を申請することができます。

【例1】胸部食道切除：1点＋胃による再建：0.5点＋3領域郭清（両側頸部リンパ節郭清術No. 104＋No. 101）：0.5点＝2点

【例2】非開胸食道切除：0.5点＋胃による再建：0.5点＝1点

※ただし執刀医、指導的第一助手の場合に限ります。

※食道良性疾患の手術の複数加算はできません。

・食道再建術（胃・空腸による）：0.5点は、胃管作成から吻合までを含めて胃管再建術として認めます。

・胸部食道切除術の二期再建の場合、食道瘻造設術は点数加算できません。

## 業績目録（様式5）

・申請をする前の5年間（2013年1月1日～2017年12月31日）に、研究業績（食道外科に関する論文および学会発表）が10点以上、研修実績（所定の学会の学術集会またはこれらが主催する教育セミナーへの出席）が30点以上あることが必要です。点数は「本学会食道外科専門医審査のための研究業績点数表・研修実績点数表」で算出してください。

・研究業績の論文は業績基準に該当する医学雑誌でも、食道外科に関連する内容でないと業績として認められません。

・研究業績には筆頭または共同発表者として日本食道学会学術集会での発表、もしくは機関誌 Esophagus における論文発表を 1 編以上含まれることが必要です。

・研修実績の対象となる学会は、業績基準に規定された諸学会に準じます。

・研修実績には日本食道学会学術集会への参加2回以上、日本食道学会の主催するセミナー受講2回以上含まれることが必要です。

・業績を証明するものとして、論文別刷または学会発表の内容（学会名、開催年月日、発表者）がわかるプログラム、抄録集などのコピー、学会の参加証およびセミナー受講証のコピー（記名されたもの）を必ず添付してください。

・今回の申請における診療経験、研究業績、研修実績の対象期間は 2013 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日までの 5 年間です。有効となる日本食道学会の学術集会は第 67～71 回、セミナーは平成 25～29 年度教育セミナーとなります。

## 推薦書（様式 6）

・申請者自身が本学会評議員である場合は、ご自身で推薦してかまいません。

・近隣に評議員がいないなどで推薦が得られない場合は、事務局までご連絡ください。食道外科専門医認定部会部会長に確認します。

## （2）食道手術ビデオ

・提出する食道手術ビデオは、個人情報保護の観点から所定の手術ビデオ患者承諾書を用いて、必ず患者の承諾を得てください。

・手術ビデオ患者承諾書は各施設で保管し、承諾を取得したことを証明する 手術ビデオ患者承諾証明書のみを提出して下さい。また、証明者は修練責任者または所属長（修練責任者が申請者の時）とし、署名と捺印をした上で手術ビデオ患者承諾書との間に割印を押して提出して下さい。

・提出する食道手術ビデオ

- ✓ 現時点では右胸腔アプローチによる胸部食道切除+縦隔郭清の手術ビデオの症例に原則限らせて頂きます。開胸、胸腔鏡下は問いません。
- ✓ 診療経験として提出した症例の中の手術ビデオを提出して下さい。

- ✓ 原則、全ての胸部操作を術者として施行した手術症例のビデオを提出して下さい。
- ✓ 無影灯の固定カメラまたは天吊りカメラによる撮影ビデオでも提出は可能ですが、術野が十分確認できない場合や遠景過ぎて手技の詳細が確認できない場合には不適格として書類審査不合格となる場合があります。
- ✓ 提出する記録媒体である DVD への記録方法は以下の通りです。
  - 「倍速モード」ではなく、「通常モード」で記録して下さい。
  - 記録メディアは、「DVD-R」ディスクを使用して下さい。DVD+R、DVD-RW は不可とします。
  - DVD レコーダーから複製する際には「ビデオモード」を選択し、最後にファイナライズを行なって下さい。
  - Blue-ray ディスクは不可とします。
  - DVD レコーダーで通常の再生ができない形式での記録の場合は、受け付けることができません。
  - 必ず「Windows Media Player」、「QuickTime Player」、「VLC Media Player」で再生可能であることを確認して下さい。
- ✓ 全く同じ内容の手術ビデオを記録した DVD を 3 セット提出して下さい。
- ✓ DVD には申請者・患者が特定される情報は一切記入・貼付しないで下さい。
- ✓ DVD が複数枚に及ぶ時は、各セットに①、②、③、・・・とナンバーのみ記載して提出して下さい。
- ✓ DVD の記録内容に、申請者・患者が推察される情報があつた場合は審査不可となります。必ず確認の上、該当する情報を含む場合は該当部分のみを削除して提出して下さい。ただし、その場合は、ビデオに添付する手術説明書に削除したこととタイムテーブル上でどこにあたるのかを示して下さい。

・手術中に一時術者を交替する必要が生じて指導医と交替した場合は、その旨を手術ビデオ説明書に記載して下さい。

・手術中にトラブルがあつた場合は、その原因と対応を手術ビデオ説明書に記載し、タイムテーブル表にその場面がどこか分かるように記載をして下さい。

### (3) 食道外科専門医修練カリキュラム

#### 修練カリキュラム修了認定書

・修練責任者欄は、食道外科専門医認定施設認定申請書の署名と照合確認をするため、必ず食道外科専門医認定施設または準認定施設の修練責任者本人が署名してください。

#### 食道外科専門医修練カリキュラム一覧

- ・食道外科専門医修練カリキュラム一覧にある「記入上の注意」を参照し、申請者本人が記入してください。

- ・修練カリキュラム一覧には、食道外科専門医認定施設または準認定施設における症例経験数を記入してください。

- ・修練カリキュラム修了認定書の書類はコピーを提出してください（原本は申請者が保管してください）。